

今後の日本株式相場展望と投資戦略

2020年7月21日

岡三証券株式会社

投資戦略部 日本株式戦略グループ長

小川 佳紀

当面の日本株相場見通し

夏場に向けて再度上値を試す展開を想定



・当面の日本株相場は、夏場に向けて上値を切り上げる展開を想定する。6月中旬以降の日経平均は22,000～23,000円を中心とするボックスレンジでの推移が続く。国内外で新型コロナウイルスの感染「第2波」に対する懸念は根強く、当面は新規感染者数の動向に神経質になる状況が続きそうだ。

・一方、各国中央銀行による大規模な金融緩和と政府による財政出動の「両輪」が下値を支えよう。また、7月下旬から8月中旬にかけて発表される3月期決算企業の第1四半期決算が「思ったほど悪くない」内容となれば、業績面に対する過度な懸念も後退し、再度上値を試す展開が期待できるとみる。

新型コロナの感染「第2波」への懸念はくすぶる

陽性率は高くはなく、感染者数の報道は「独り歩き」の側面も

《新型コロナの感染「第2波」に警戒》

新型コロナの新規感染者数

(国内)



・経済再開に伴い、感染「第2波」に対する警戒感が高まっている。各国政府としては、財政面から追加の対策には限界があるため、経済活動を大々的に再ストップさせたくないというのが本音だろう。今後も、この様な局所的なロックダウンが増えるとみられ、当面は感染者数の動向に神経質となる展開を余儀なくされよう。

・一方、足元で感染者数が増加している背景には、PCR・抗原検査数が増加している面もあろう。実際に、PCR検査数は直近で3,000件/1日、陽性率は約6.3%となっている(東京都HP)。陽性率は4月のピーク時が約32%であり、足元の数字は落ち着いた水準と言える。感染者数に関する報道は「独り歩き」の側面もあるとみる。

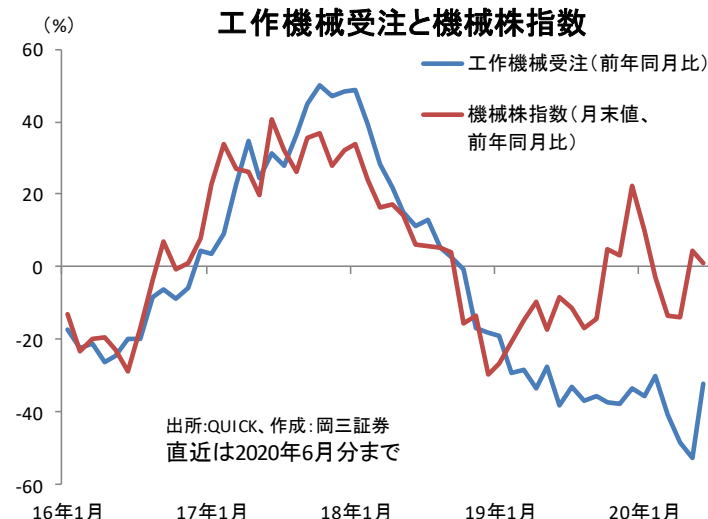
実体経済と株価の「乖離」の行方を注視

経済指標の改善が中長期資金の流入につながるか

《NT倍率は上昇傾向が続く》



《工作機械受注は底入れの「兆し」も》



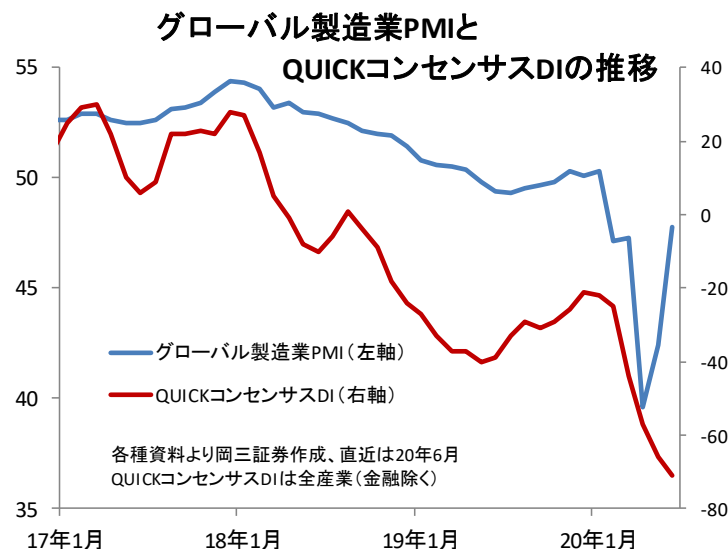
・実体経済と株価の「乖離」が広がっており、足元の上昇相場においても実需の資金流入は限定的である印象だ。実際に、NT倍率(日経平均/TOPIX)は拡大傾向が続いている。これは、日経平均こそ先物主導で水準を切り上げる半面、TOPIXは上値の重い動きとなっており、市場全体に実需の資金による物色が広がっていない証左だろう。

・背景には、今後の景気回復の行方が見通せない点が挙げられよう。ただ、6月の工作機械受注は前年同月比で約30%の減少と、落ち込み幅は縮小の「兆し」も見られる。今後はソフトデータ(企業や消費者の心理・マインドを示す指標)に続き、ハードデータ(実体経済の動向を示す指標)の改善が一段と鮮明になれば、中長期資金の回帰につながる可能性がありそうだ。

グローバル製造業PMIの持ち直しは追い風

企業の業績回復期待が先んじて高まる可能性も

《グローバル製造業PMIは持ち直しの兆し》



・各国中央銀行による大規模な金融緩和と政府による財政出動の「両輪」によって、過度な下値不安は高まらないだろう。とりわけ、「カネ余り」効果を追い風に、米国株は再び史上最高値が視野に入っている。世界の株式市場の牽引役となっている米国株の堅調地合いが続けば、日本株についても追隨の動きが期待できよう。

・足元の経済指標は厳しい内容が目立つが、企業や消費者などのマインドを示すソフトデータの一部は経済再開によって持ち直しの動きが見られる。例えば、グローバル製造業PMIは5月から6月にかけて一旦持ち直し、底入れの兆しが見られる。同指数は国内企業の業績見通しを示すコンセンサスDIと連動する傾向が見受けられる。マインド系指標の改善が続く場合には、企業の業績回復期待が先んじて高まることになりそうだ。

東証マザーズ市場の「勢力図」に異変！

「イメチェン」成功なら市場の評価が変化も

東証マザーズ市場の時価総額トップ10

《2016年5月時点》

銘柄	時価総額 (億円)
7779 サイバダイ	5,377
2121 ミクシィ	3,608
4565 そーせい	3,551
6176 ブランジスタ	916
4593 ヘリオス	797
1435 TATERU	794
4592 サンバイオ	773
3932 アカツキ	673
3914 JIGSAW	592
3679 じげん	579

《2018年1月時点》

銘柄	時価総額 (億円)
7779 サイバダイ	4,060
2121 ミクシィ	3,767
4565 そーせい	2,245
3993 パークシャ	1,958
4592 サンバイオ	1,831
3479 TKP	1,425
3679 じげん	1,255
8922 JAM	1,030
4593 ヘリオス	1,017
7172 JIA	1,016

《2020年7月時点》

銘柄	時価総額 (億円)
4385 メルカリ	6,572
4478 フリー	2,580
6027 弁護士COM	2,244
3923 ラクス	2,148
4563 アンジェス	1,906
4483 JMDC	1,759
4443 Sansan	1,700
3994 マネフォ	1,697
4565 そーせい	1,227
4488 AIins	1,196

作成: 岡三証券、2020年7月17日現在。網掛けはバイオ関連企業。

そーせいは公募、TATERUは継続企業の前提に重要事象がある銘柄、JIAは貸株申込停止・貸株注意喚起銘柄、アンジェスは継続企業の前提に重要事象がある銘柄(7月21日時点)。

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<http://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

地域別の開示事項

日本:

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書及びその補完書面)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<有価証券や金銭のお預りについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預けになる場合は、1年間に3,300円(税込み)の口座管理料をいただきます。加えて外国証券をお預けの場合には、1年間に3,300円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、当社が定める条件を満たした場合は当該口座管理料を無料といたします。

なお、上記以外の有価証券や金銭のお預りについては料金をいたしません。さらに、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株式>

・株式の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.375%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債券>

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。

- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ではありますが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.10%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))
保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.254%(税込み))
換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)
その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

- 自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。
- 2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

香港における本レポートの配布:

本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亜洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亜洲)有限公司にお願いします。

米国内における本レポートの配布:

本レポートは岡三証券が作成したものであり、1934年米国証券取引所法に基づく規則15a-6に規定される米国主要機関投資家のみ配信されたものです。岡三証券は、米国内における登録業者ではないため、米国居住者に対しブローカー業務を行いません。本レポートで言及されている銘柄の売買注文は、アーバック・グレイソン社を通して執行いたします。

なお、本レポートは、受領者及びその従業員が使用することを目的として配信しております。

さらに、本レポートのアナリストは米国で活動をしていないため、米国のリサーチ・アナリストとして登録されておらず、資格も有しておりません。また、当該アナリストは、アーバック・グレイソン社または他の業者の関係者ではありません。したがって、当該アナリストは、米国金融規制機構(FINRA)規則の適用の対象ではありません。

その他の地域における本レポートの配布:

本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意する必要があります。

地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

(2020年1月改訂)